

令和3年度 第11回みやま市教育委員会定例会 会議録

- ◆召集日時 令和4年2月22日 午前10時00分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 待鳥 博人
- ・委員 井上 正明
- ・委員 樺島 靖子
- ・委員 宮本 篤
- ・委員 北原 八州子

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（13名）

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| ・教育部長                | 藤吉 裕治  |
| ・教育総務課長              | 堤 則勝   |
| ・学校教育課長              | 北嶋 淳一郎 |
| ・指導室長                | 上田 理彰  |
| ・社会教育課長              | 山田 利長  |
| ・学校教育課長補佐兼<br>学務担当係長 | 松尾 剛   |
| ・総務担当係長              | 荒木 洋子  |
| ・学校再編推進担当係長          | 中島 豊晴  |
| ・施設担当係長              | 井口 剛   |
| ・総合市民センター整備推進担当係長    | 宮川 浩則  |
| ・指導室主任指導主事           | 伊井 和子  |
| ・指導室指導主事             | 松藤 桂輔  |
| ・教育研究所長              | 藤岡 育代  |

4. 傍聴人

- ・0名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について
- (4) 議案第27号 みやま市立小中学校教職員の人事異動内申について

- (5) 報告事項
- (6) 次回教育委員会について

【午前10時00分 開会】

【教育長】

新型コロナウイルス感染症は、まん延防止等の重点措置が福岡県で3月6日まで延長された。現在、教育委員会、学校も非常事態として危機管理を強く推進している。第6波は子どもの感染が目立ち、2月上旬の1週でみやま市は小中学校の陽性者が20名を超える週があった。複数の学校で学年、学級閉鎖を行った。休学中はオンライン授業などの実施により、学びの継続を図っている。また、濃厚接触者の特定など学校に新たな負担をかけている。市教委、学校の組織を挙げて、この危機を乗り切っていきたい。

さて、令和4年度の教育施策案について主な点を説明する。

学校教育では、万全の新型コロナウイルス感染症対策をとり、新しい生活様式のもと工夫を凝らし、子どもにとって「行きたい、学びたい、楽しい学校」を目指す。子どもには、挨拶、掃除、整理整頓などの凡事徹底を身につけさせたい。

次に、新学習指導要領で目指す、「主体的対話的で深い学び」のある授業の実現を図りたい。また、キャリア教育の体系化を更に努めたい。ICTは活用そのものを目的にしてはならないが、学びの変容が期待できる。オンライン授業も必要に応じて実施できるよう準備する。

高田小学校の令和5年度開校へ向け、統合協議会などをとおして、校舎建設はもとより、既存4校の児童交流なども推進していく。

また、大雨対応や避難などの防災教育はもはや必須である。みやま市はゼロカーボンシティ宣言やワンヘルス宣言を行い、地球温暖化を見据えての環境教育も求められている。

さらに、社会に開かれた教育課程を実現するための「次世代の学校・地域創生みやまプロジェクト」を推進していく。

文化、スポーツの振興ではウィズコロナ、アウターコロナでの各イベントの工夫をしていく。大雨被害を受けた文化財の修復も大きな課題である。オリンピック後の国際交流では、今後さらに継続するよう啓発していく。

総合市民センターは9月25日に開館式典、10月1日開館と決まった。開館に際しては、幼保育園児、小学生、中学生、高校生、大人が一体となつてのイベントを模索している。笑顔にあふれ、活力に満ちた市民図書館づくりへ向け、ウィズコロナやアウターコロナでの図書館利用、イベントの実施を工夫したい。

教育委員会では今年も様々な教育施策を実施予定だが、根底は子ども達の健康・安全である。いじめや不登校への組織的な対応を指導していく。

教職員が不足しており、非常に厳しい状況にある。このままでは市の教育施策にも大きな影響が生じるので、市教委も全力で人材確保に努めるが、教育委員の皆様も、お知り合いの方などへの声掛けなどをお願いします。

ただ今から、令和3年度第11回みやま市教育委員会定例会を開会する。

○日程第1 第11回みやま市教育委員会定例会の会期は、令和4年2月22日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は、総務担当係長 荒木洋子とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と宮本篤 委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 **議案第27号**

**■ みやま市立小中学校教職員の人事異動内申について**

【教育長】 ・本議案の協議は非公開とする。

【指導室長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

「質疑省略」

【教育長】 ・議案どおり可決してよろしいですか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第5 **報告事項**

**■ 教育部長**

【教育部長】 ・令和4年第1回市議会定例会日程及び一般質問について（資料P2）

・令和4年度教育部の予算について

・新型コロナウイルス感染状況及び取組み状況について

・令和4年度教育施策（案）について（別紙資料）

【教育長】 ・質問等ありませんか。

【宮本委員】 ・施策の全体的なことだが、毎年更新される中で、前年度までの所見や評価がなければ次年度の施策はできないと思う。掲載するのはスペースの問題や情報量の関係で難しいと思うが、きちんと評価したうえで、次の施策を作っていただけたらと思う。

- 【教育長】 ・新しい施策を次々に載せていくと膨らんでしまうので、ご指摘のとおり、評価したうえで完了したものについては、重点課題から省いていくなど行っていきたいと思う。
- 【井上委員】 ・施策の柱はあるのか。
- 【教育長】 ・教育大綱の「みやまに学び、みやまを愛し、みやまに貢献する人づくり」である。学校教育では「社会に羽ばたく力、確かな学力、心豊かでたくましく生き抜く力」を子ども達に指導していく。社会教育では「やりがい、生きがいのある健康長寿」学びと活動の好循環を大きな柱としている。新しい生活様式のもとウィズコロナの部分を強調させている。他の市には負けないみやま市の特徴としては、「キャリア教育の体系化」、「ICTを活用した授業改善」、社会教育と学校教育をつなぐ「次世代の学校・地域創生みやまプロジェクト」がある。
- 【樺島委員】 ・確かな学力やたくましく生き抜く力を培うために、予算化しているものがあれば説明をお願いしたい。
- 【学校教育課長】 ・GIGA スクール構想の授業の中で、新しい学びの変容に向けたサポートを手厚くする予定である。また、国や県の学力テストをフルメニューで予算化している。ワンヘルス授業も実施していく予定である。
- 【井上委員】 ・新しい生活様式とは、具体的にどういうことか。
- 【学校教育課長】 ・文科省が出している学校の新しい生活様式というマニュアルがある。コロナ対策をしながら、学校の学びを効果的に行う ICT 活用など新しい学びの方法である。今までの学校教育のやり方と違った新しい形で、学校行事の考え方や学校の中身のことを見直していくことを文科省が提唱している。
- 【樺島委員】 ・学校行事の考え方とは、どういうことか。
- 【学校教育課長】 ・安全な間隔を確保できないような一堂に集まって行う行事のやり方の見直しである。運動会や式典、授業参観のやり方の見直し等が具体的に示されている。
- 【樺島委員】 ・授業参観などは、学年別に日程を組んで実施していくのか。
- 【学校教育課長】 ・それも一つの方法だが、授業参観をライブ配信で観てもらおうようにしている学校もある。式典は距離を空けて椅子を並べるなど、時間を決めて終わらせるなどの基準が書かれている。
- 【指導室長】 ・これまでの学校行事の中で、本番に向けての練習時間の見直しや、運動会にしても学校規模によって保護者の人数に違いがある。そのようなことを考慮すると、1日がいいのか半日に分けて行う方法がいいのか、今後考えていく必要があると思う。
- 【井上委員】 ・コロナが終息した状況になっても、そのようなやり方で行うのか。
- 【学校教育課長】 ・新しい学校行事の見直しや働き方改革も含め、コロナ前には戻らない。新しい形を作り上げていこうという考え方である。

【宮本委員】 ・キャリア教育の推進について、地元のことを学ぶことは大切だと思うが、それと同じように外のことを学ぶことも必要だと思う。みやま市のこと知り、魅力を感じて、みやま市に残ってもらおうという狙いがあると思うが、それは逆に子供の可能性を閉ざしているようにも感じる。みやま市と外の世界を知ったうえで、子ども達に選択をさせる。みやま市の大人達は子ども達に選んでもらうよう魅力ある街づくりに励む。みやま市に子どもを預ければ、いろんな社会のことを教えてもらえ、可能性が広がるかもしれない。そのようにすれば、みやま市で子育てする人が増えるのではないかと思う。キャリア教育の推進では、みやま市にはない魅力が外にもあるので、そういったことを教えることも検討していただきたい。

【指導室長】 ・低学年から社会科で学校や地域を学習しており、5年生では県や国というように外に広がっていくような配列となっている。それに併せて、みやま市では故郷を大事にするために、一昨年から作成している「まなびマップ」を活用し、生活総合と絡めながら自分達の街を大事にすることを育てている。また、来年度は夢講座において、地域の人や卒業生など様々な人から働くことの意義や仕事の魅力など話を聞いて、広がるような計画を立てている。市にはないところでの体験や見学についても前向きに検討していきたいと思う。

## ■ 教育総務課

【教育総務課長】 ・令和4年度教育総務課の主な予算について（教育部予算資料 P1）  
・小中学校卒業証書授与式及び入学式の告辞予定者について  
・みやま市総合市民センター建設工事工期延長について（別紙）

【総合市民センター整備推進担当係長】

- ・みやま市市民センター条例について（別紙資料①）
- ・近隣市ホール仕様比較表（別紙資料②）
- ・みやま市市民センター条例施行規則について（資料③）
- ・みやま市市民センター条例施行規則（抜粋）について（資料④）

【施設担当係長】 ・4校統合小学校に関する建築工事の入札結果について

## ■ 学校教育課

【学校教育課長】 ・令和4年度学校教育課の主な予算について（教育部予算資料 P2～P3）

【学校教育課長補佐】

- ・学校における新型コロナウイルス感染状況について  
学校から教育委員会に報告があった件数は、前回の教育委員会後 160 件（4月からの全体が 375 件）。1月28日以降の学校における児童生徒と先生の陽性者合計数 62 名の感染が確認された。

学級閉鎖は9学級。学年閉鎖は5学年である。

- 【教育長】 ・ 質問等ありませんか。
- 【宮本委員】 ・ 総合市民センターの使用料で、年間の維持費と収入見込みのバランスがわかれば教えて欲しい。
- 【教育総務課長】 ・ 使用料は10月から3月までの半年間で概ね300万円程度と見込んでおり、維持費は年間1億弱ぐらいになると見込んでいる。
- 【宮本委員】 ・ 予算について、これからはお金も人手も時間も節約していかなければいけないので、一手で二つの問題を解決するようなやり方を考える必要があると思う。教育部だけでなく他の部署とも連携して、課題を解決することができるのではないかと感じる。例えば、学校の使えないプールを畑にして、農林水産課と協力して新規就農の新しい農業のトレーニング施設にするとか。お互いの課題を両方で補えることをしたら、一手で二つ三つ課題を解決できるのではと思う。予算編成で大変だと思うが、予算会議の前段で横の連携をとり、もっと効率よくお金を使えるようなやり方があればと思う。

#### ■ 指導室

- 【指導室長】 ・ 福岡教育大学附属久留米小学校長期派遣研修員最終報告会について  
久々原祐史先生（大江小学校）
- 【教育研究所長】 ・ 令和3年度研究員及修了式・論文表彰式及び研究報告会  
オンラインにて開催予定（2/24）  
・ 令和3年度ICT推進の実践事例集について

#### ■ 社会教育課

- 【社会教育課長】 ・ 令和4年度学校教育課の主な予算について（教育部予算資料P4）

○日程第6 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 令和4年3月17日（木）午後2時00分～

- 【教育長】 これで本日の日程は全て終了しました。  
令和3年度 第11回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午前11時50分 閉会】